

Rotary



# ガバナー月信

Vol.13

## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー&ガバナー補佐

野本俊光 補佐、佐橋正行 補佐、湯本茂作 補佐、前嶋修身 ガバナー、中嶋 清 補佐、武藤典夫 補佐



人類に  
奉仕する  
ロータリー

国際ロータリー第 2570 地区事務所

〒355-0028 東松山市箭弓町 2-5-14 紫雲閣 3階

TEL : 0493-21-2570 FAX : 0493-21-2571

E-mail : d-office@mail.rid2570.gr.jp

<http://www.rid2570.gr.jp>



知恵と元気を

## 会員数が 22 年振りに増加

国際ロータリー第 2570 地区

2016 ～ 2017 年度 ガバナー 前嶋 修身



本年 7 月 1 日、ガバナーを終わりホッとしました。急な話でガバナーをお引き受けすることになりましたが、全力で駆け抜けることができました。ガバナーは一人ではできません。皆様のご協力があったことで、深く感謝申し上げます。

### <地区会員数が 22 年振りに増加に転じました>

22 年振りに私たちの国際ロータリー第 2570 地区会員数が底を打ち、増加に転じたことを報告いたします。1995 年 6 月末 2,897 名から減少に転じ、私がガバナーを受け継いだ 2016 年 7 月 1 日 1,604 名。実に半分近く (44%) 減っていました。どんな組織、団体でも所属人数が減っていくというのは寂しく意気上がりません。会員が少ないことが問題なのではなく、減り続けていることを憂慮すべきなのです。地区テーマを「知恵と元気を」に決め、会員の「知恵と元気」で、クラブを、そして地区を活性化しようと考えました。私の年度目標の一番目に「会員（仲間）を増やそう」としたのは何とか私の年度で減少に終止符を打ちたい、との思いがあったからです。

地区研修協議会、会長研修会 (PETS)、クラブ公式訪問そして地区大会など、機会を通じて会員の皆様をお願いいたしました。また、会員減少の一因でもある低下している例会出席率の向上を目指しクラブの「出席委員会」の名称を「出席促進委員会」「出席向上委員会」などの名称に改めていただきました。地区 HP の刷新、ガバナー月信のカラー化など乏しい予算を工夫し地区内 PR にも心掛けました。結果は、各クラブのご協力のお蔭をもちまして、30 名増の 1,634 名となりました。正直、大変うれしい思いであります。

### <ポール・ハリスと田中作次さん>

次に、この 1 年間、ロータリアンとして感銘を受けた 2 名の方のお話をいたします。1 人は、ポール・ハリスです。正確には、ポール・ハリスの家と言った方がいいかもしれません。アトランタ国際大会の当地区公式ツアーとして、会場アトランタの他にシカゴ、ニューオーリンズの旅を組み込みました。シカゴでは、エバンストンにある RI 本部、そして、ポール・ハリスの自宅と墓地を訪問。RI 本部は学園都市の中にあり、オープンで明るく、私がイメージしていた堅苦しさとは縁遠いものでした。

ポール・ハリスの自宅は、アメリカ映画で登場するごく普通の住宅街の中にありました。邸宅街ではありません。道路からは少し小高くなっており、入口から木々に囲まれた坂道のアプローチを上ります。丁度、自宅を全面修理中でしたが、シカゴ RC のデービッドさんに案内してもらい、家の中をすべて見せていただきました。亡くなったハリスが横たわっていたベッドの場所なども。私が最も印象深かったのは、こじんまりした地味な地下室を案内していただき、そこで時々クラブの集まりがあったことをお聞きしたときでした。スタンディングピアノの伴奏で皆で歌ったり、シガーを楽しんだり、カード (トランプ) 遊びに興じていたそうです。そのシカゴの片隅の小さなクラブが、世界 200 ヶ国以上、120 万人を超える大きな組織になったのは、単なる親睦を目的としたクラブから脱し、「奉仕 (SERVICE)」という背骨、目的が備わっ

たからだ、ということに改めて気づかされました。同時に、ロータリーは「楽しいクラブである」ことも。

デービッドさんによると、ポール・ハリス家の改修はトロント国際大会までに完了し、また、隣の家を買収して資料館に改造、自宅には足の不自由な方のためにエレベーターを設置する予定だそうです。

2人目は、日本で3人目のRI会長をお務めになった田中作次さんです。最初にお目にかかったのはサンデイエゴの国際協議会（ガバナー研修会）の晩餐会で同じテーブルに座ったときです。ずうずうしくも地区大会の特別講演の依頼をしましたが、気軽に引き受けていただき、すぐメールアドレスを教えてくださいました。地区大会前には、大会役員と一緒にご自宅にご挨拶に伺い、思いがけず有り難いご奉仕をお受けいたしました。その後も他の地区大会、ロータリー研究会などでお会いしていますが、いつも変わらぬフランクな態度で接していただいています。坂戸RC50周年記念大会の時は、特別講師として招かれた田中作次ご夫妻と私共夫婦は幸せにも半日一緒に過ごすことができました。田中作次さんは常にシンプルで率直です。いつもいいことをしよう、としているだけです、と言っています。このことは、私の年度の地区大会報告書「国際ロータリー会長 田中作次さんに聞こう！ロータリーとは、奉仕とは、人生とは」・講演及び質疑応答」をお読みいただくとよくお分かりになるかと思えます。

### ＜ガバナー選出はロータリーの精神で＞

RC会員の皆様はご存知のように、「ロータリー」の名称の語源は会員が順番に回り持ちで開いたことに由来しています。本年度地区大会の私の挨拶で二日間にわたり皆様をお願いしたのは、ロータリーの精神に則り、各グループで順番にガバナーを出していただきたい、ということでした。現在、第5グループから異例に2回続きましたが、ぜひ、会員の皆様の「知恵と元気を」いただき、第1グループから第5グループまで順番に選出していただければ、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニ、ガバナー・デジグネイティブまで選出することも可能です。早く決まれば余裕をもって地区のことを考えることができます。国際ロータリー第 2570 地区の将来のために、よろしくご協力ください。

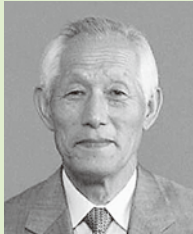


緑の樹々に囲まれたポール・ハリス家にて シカゴRC デビッドさんと

## 一年を振り返って

### 諮問委員

#### パストガバナー 今泉 清詞 (川越 RC)



##### この1年間を顧みて

前嶋ガバナーは就任のご挨拶で本年度の運営基本理念として「知恵と元気を」を掲げられ、具体的な方針として1. 会員を増やそう 2. クラブ例会の充実と出席率の促進 3. 地域の人々にロータリーを知って頂こう。この他財団、米山への理解と協力、地区委員会の在り方等々について極めて意欲的な方針を示されました。

各クラブへの公式訪問や地区の各種委員会等に於いてその重要性について懇切な説明と指導を行った結果譜夫々の分野で立派な成果を挙げられた事に深甚な敬意と感謝の誠を捧げます。尚 11 月 5 日開催された地区大会第 1 日目の地区指導者育成セミナーに於いてビルマ奨学会とミャンマーについて紹介する機会を与えられ日本、ミャンマー両国の友好親善に大きく寄与いたしました。夫々の分野で極めて斬新的な発想で活動を展開し、素晴らしい成果を挙げられましたが、その陰には各地区委員、地区事務所のスタッフ、ガバナー夫人の絶大なご協力があった事を銘記し深甚な敬意を表します。

#### パストガバナー 梅沢 定彦 (所沢 RC)



前嶋修身パストガバナーに対して、一言感謝の言葉を述べさせていただきます。

世界的に会員減少、そして当地区でも会員の減少でやや停滞気味の当地区ロータリー活動に対し、貴殿は、その職位を会員増強、活性化にと、あらゆる部門活動で大変尽力していただき、本来のロータリーの目的でもある「奉仕の理念」を奨励し実行していただきました。特に地区大会の素晴らしかった事、日豪青年相互訪問、そして会員増強にも大変な御努力で、第 2570 地区ロータリアンのリーダーとして、この一年間、全力で御努力、御活躍いただいた事に対し、心から感謝申し上げ、お礼の言葉と致します。

#### パストガバナー 石川 嘉彦 (入間 RC)



##### この1年を振り返って

前嶋修身直前ガバナー 有難うございました。急なお願いで就任して頂きましたので、ご準備が大変だったことと思います。しかし国際協議会からお帰りになった前島様は卓越されたリーダーシップを発揮されました。地区委員長はじめ委員会もその指導を受けてどの部門も立派な実績を上げました。

本年はR財団部門創立 100 周年 米山記念奨学部門創立 50 週年に当たる記念すべき年度でした。またRIの五つの戦略計画を実施した大きな年度でしたがそのすべての行事を立派に実行されました。

特筆すべきことは第 2570 地区の会員数がここ何年も減少していましたが前嶋年度 1607 名でスタートした会員数が年度末には純増 30 名の 1637 名だったことです。地区のこの趨勢をこれからも続けるために力を合わせて働きましょう。

#### パストガバナー 真下 和男 (東松山 RC)



##### 困難な状況 頑張りで成果

前嶋ガバナー誕生は当地区ガバナー選出でかつてない状況により大幅に遅延した。予定者 2 名がほとんど同時に健康上の理由等で止むを得ず辞退された。日程がなくなり RI 会長決定で前嶋ガバナー誕生となった。地区役員や委員の選任等も大変ご苦労があっただろう。このような状況にもかかわらず、飯塚幸一地区幹事や熊谷 RC 会員、ガバナー補佐等のご協力で立派な成果を挙げることができた。

田久保眞理子熊谷 RC 会長は女性会員の指導的立場でクラブ、地区共によく活動をされた。又、地区大会も松本光弘会長、岡部洋一実行委員長のもと立派に遂行された。

ロータリー活動はクラブがその要であり、役員選出等もクラブが積極的に取組んでいかないと、ガバナー選出もなかなか困難な状況が続くものと思われる。

ロータリー活性化はクラブと地区の組織をしっかりと立ち上げることが何よりも重要である。

## パストガバナー 加藤 玄 静 (本庄 RC)



### 地域を救ったガバナーに感謝

突然の井埜利博ガバナーエレクト、栗山 昇ガバナーノミニーの辞退により当地区はお先真っ暗になりましたが、流石熊谷ロータリークラブでは後任のガバナーエレクト前嶋修身氏を直ぐに推薦され、地区を救って下さいました。

ガバナーエレクトとして、地区組織、地区運営等の準備に大変心労を遣われた事と御推察いたします。指名が有りましたので全面協力を誓い副ガバナーの職を引き受けました。

国際協議会から帰国後、全ての公式行事・会議を見事に成し遂げ、ガバナー年度には前嶋色を表に出し、RIテーマ「人類に奉仕するロータリー」を推進されました。感謝の一言です。

## パストガバナー 立原 雅 夫 (川越 RC)



### 『知恵と元気を』ありがとう

2016-17 「人類に奉仕するロータリー」RI 会長 ジョン・ジャーム

『知恵と元気を』RID2570 ガバナー 前嶋修身

大活躍の1年間、ご苦勞様でした。ガバナーとしての準備期間も少ない中でのスタートでした。熊谷RCをはじめ、多くのロータリアンの友情に感謝申し上げます。

上記テーマは、ロータリーの歴史と未来を考えるにふさわしいと感じました。いつの時代も世界の変化に対応してきたロータリーです。私も地区より2016年・RI規定審議会(シカゴ・USA)に参加してまいりました。最近のグローバルロータリーのスタンスが伝統的Rと新しいRとの間にギャップと変化を始めていることを強く感じました。こんな時代に前嶋ガバナーは、新しいロータリー活動の可能性を示唆していただき、素晴らしいリーダーシップを発揮していただきました。

『知恵と元気を』ありがとうございます。

## パストガバナー 坂本 元 彦 (富士見 RC)



### 『知恵と元気を』ありがとう

前嶋修身直前ガバナー1年間ご苦勞様でした。

急な登板で色々大変だったと思いますが、特段大きな問題提起もなく地区大会も盛大であり地区運営も努力と実行力により無事乗り越えられたことは立派であったと感銘しております。

年度中に一ガバナー指名委員として思いを強くした事がありました。ガバナー選出等の基本的な理解としては、「RIの会員はクラブでありこのクラブの集まったものが地区である」という事からすると、各クラブのリーダーシップの問題(責務)として「常日頃から考え備えておく事」が最も大切であるという事です。この事への配慮が少なかったと反省させられました。

前嶋さん、ガバナーは単なる通過点にしか過ぎません。今後は当地区の為だけではなく日本のロータリーの為に大いに活躍されることを期待しています。

## パストガバナー 高柳 育 行 (本庄 RC)



### 地区に「元気」をもたらした前嶋ガバナー

前嶋ガバナーには心より感謝申し上げます。前ガバナーエレクトが辞退して数週間という短い期間にご決断いただき、諮問委員の皆様の推薦のもとで前嶋ガバナーエレクトが誕生いたしました。慌ただしい中、サンディエゴでの国際協議会にご出席され、帰国後も年度のスタートに向け、準備が大変であったことと思います。年度がスタートしてからは、公式訪問も無事に務められ、印象深い地区大会を盛会に開催され、ガバナーとしての役目を果たされました。地区として長年の課題でありました会員減少も、年度末に30名の純増という結果をもたらされました。まさに前嶋様がテーマとした「知恵と元気を」を自ら示された結果であると思います。今後の更なるご活躍を心よりご祈念申し上げます。

## ガバナー補佐・クラブ会長

## 第1グループ ガバナー補佐 中嶋 清（鶴ヶ島 RC）



今年度RIのテーマはジョン・ジャーム氏の「人類に奉仕するロータリー」で私たちが集う一番の理由は最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためですと言っています。当地区の前嶋修身ガバナーの今年度のテーマに「知恵と勇気を」をかがげました。地区の方針では①会員を増やそうをあげました。②例会の充実と出席率の促進を③公共イメージと認知度の向上をあげて一年間、前嶋修身ガバナーの方針にそうよう、努力をしてまいりました。

公式訪問では各クラブが暖かい雰囲気ですて迎えてくれました。前嶋修身ガバナーは常に落ち着いて明るく、各クラブを公式訪問しました。前嶋修身ガバナーの人柄が明るくしてくれました。私は第一グループの各グループに増強、会員を増やそうと活動しました。3月末現在13名の増強となりました。また例会では各クラブ出席向上委員会として出席率の向上に努めました。また公共イメージがどのようにしたら認知度があがるかが工夫をしました。ロータリーによる、良い活動を常に考えて時代のニーズに合った「奉仕」が大切だと感じました。11月に行われた地区大会では大成功に終わりました。中でも田中作次に質問できたこと、増強は常にこれと思った人に「あたり」をつけて誘い、ロータリーの魅力を話すことが大切だそです。

補佐訪問では色々な人々と話すことによって勉強になり、有能な職業人の集まりにふれることができました。前嶋修身ガバナーの補佐を務めさせて頂き結集された努力には限界が無く、有能なロータリーに身をおいて活動させていただいたことに深く感謝する次第です。一年間有難うございました。

## 石井 照典（川越 RC 会長）



## クラブ会長の一年を振り返って

今、一年の航跡を振り返ると、そこにはいくつもの「感謝」の二文字がありました。

本年、当クラブは創立65周年の節目を迎え、その記念式典挙行とメイン事業として臨みました。これまで諸先輩方が丹念に積み上げてこられた「歴史と伝統」を次なる370年に向けて継承するという責務を、メンバー全員が心一つにして果し得たことは、何よりも喜ばしいことでした。

偏にこのことは、縁で結ばれた無数の方々のご尽力があったればこそと、心より感謝致しております。

何よりも、この縁に巡り合えた幸せに感謝し、そしてこの縁を「ありがとう」の心で活かし、社会に還元してゆくことが「感謝をかたちに」することだと考えます。

貴重な体験をありがとうございました。

## 野口 荘二（東松山 RC 会長）



一年間東松山ロータリークラブ会長として、クラブの内外を問わず多くの方々に大変お世話になりました。心より御礼を申し上げます。

顧みますと、この一年間はクラブの創立記念会が多かったと感じております。川越クラブさんの65周年、小川・坂戸クラブさんの夫々50周年記念祝賀会に、同一グループ内会長としてご招待戴き、工夫のこらされた祝賀行事と一緒に祝わさせていただきました。これもロータリークラブならではの良き所と実感致した次第です。

前嶋ガバナーの示された“知恵と元気を”のメッセージは時を越えて各ロータリークラブに課せられた課題です。今後ともロータリーライフを楽しみつつ、これの実践に向けて一步一步頑張っていこうと考えております。

## 松矢 紀吉（小川 RC 会長）



2016-2017年度の会長を事情により引き受け、2年連続の会長となりました。今年も、公式訪問は例年通り3クラブ合同で行われました。前嶋ガバナーに訪問頂き和やかな雰囲気ですて無事終了致しました。前嶋ガバナーはやる気満々という雰囲気ではなく柔らかな雰囲気ですて話を進めととても良い指導を受けたと思っています。

私共小川クラブは今年50周年ということで記念式典を行いました。毎年行っている小・中学生による読書感想文優秀者の表彰をメインにし、小学3年生の感想文を3名の子供が壇上で発表。幼稚園子供たち60名の鼓笛隊の演奏誠に立派に演奏されました。舞台上

の練習は1度だけでしたが、まだ学校に上がる前の女の子がマーチングバンドの中心で笛とタクトで、そしてかわいい声で全体に号令をだす光景は見事でした。ガバナーもあんなに小さい子がと感心し、3年生の発表にも堂々としてリッパと褒めて頂きました。お陰様でホールいっぱいのお客様の参加もあり、会員一同大満足でした。他クラブの方々の参加も頂けて、暖かいご支援・ご協力にロータリアンの絆の強さを改めて強く感じました。

### 新井 正健（坂戸 RC 会長）



本年度のテーマ「50周年を一緒に祝おう Let's challenge」掲げる中、6月3日に前嶋ガバナーをお迎えして創立50周年例会を開催致しました。2012-13年度のRI会長田中作次様ご夫妻をゲストにお迎えして会員一同で盛大に50周年をお祝いすることが出来ました。次代に向けたチャレンジとして「城西大学ローターアクトクラブ創立」を目標とした中で、地区および城西大学関係者から全面的なご協力をいただき、4月8日には当クラブが提唱クラブとして認定状伝達式を挙げる事ができました。また、「坂戸市スポーツ少年優秀選手賞の授与式」は、今年で第36回目を迎えました。伝統の継承とチャレンジの実行、次なる半世紀に向けた我がクラブの未来予想図の第一幕の年度であったと思います。

### 磯 哲也（越生毛呂 RC 会長）



昨年7月、出席率100%賞を頂いてびっくりしたことを思い出す。仕事の関係上、休みがちであった例会出席。とても自分には縁のない賞だと思っていた矢先の出来事であった。そして会長就任。もう休むことはできない。意識が変わった。毎週火曜日の12時半から1時半までは、RC最優先。一年間の手帳は、先に全ての火曜日は「RC」と書き込んだ。一年間は頑張ろう。妻にも言った。仕事仲間にも話した。一週間にたった一日の一時分なのにこんなに重い時間があるとは。例会日だけでなく、様々な研修会、周年行事、委員会研修会など多くの出席すべきものはほとんど出席した。おかげで、多くの貴重な体験をすることができた。「親睦から奉仕へ」素晴らしい言葉だ。

### 山本 庄一（川越小江戸 RC 会長）



当クラブは少人数ですが、会員の団結により30人クラブに劣らないクラブ活動を行っています。例会の充実を図る具体的な行動として、開会点鐘後の会員間の握手、各テーブルには会員が季節のお花を持ち寄り艶やかな雰囲気の演出を加えて例会を行いました。社会奉仕活動として正月の献血活動、4月のボランティアマッサージ、川越4クラブ合同事業（打ち水風情、川越市内中学生支援少年の翼、海外派遣AMFジャズ支援、財団補助金事業）春・夏・秋・冬・交通安全週間出発式参加等積極的に参加させていただきました。課題の会員増強ですが一番クラブを愛していたチャーターメンバーのご逝去で1名減少しましたが、すぐに若手で期待の新人会員の入会で何とか現状維持にとどまりました。

### 田村 宏（川越西 RC 会長）



一年を振り返り最初に思い出すのは、地区研修協議会の会長部会で、日本のロータリーの価値観を変えるような事が規定審議会で決定された。これにクラブはどう対応すれば良いのか？と会場内が大混乱をしたのを思い出します。

実際のクラブ運営は、変えなければならないものと変えてはならないものを意識しながら進めてまいりましたが、やはり至らない事ばかりで、反省の絶えない一年でした。そんな頼りない会長が何とか一年を終えられたのはクラブ会員の皆様、また多くの方々のご支援ご高導をいただく事が出来たからであります。心より感謝を申し上げます。一年間大変御世話になり誠にありがとうございました。

**宮前 典子（鶴ヶ島 RC 会長）**

会長としての1年間をふりかえってみて最も印象深かったのは、アイエムを無事に挙行できたことです。実行委員会のご尽力により、ガバナー補佐が掲げたテーマである「奉仕の心で地域に活性化」を形にすることができたと自負しております。

また、今年度の青少年交換プログラムにも取り組めたことも大きな喜びです。ホストファミリーを受けていただいた方々のお陰で、生活習慣が全く異なるイスラム圏の高校生を日本で約1年間預かることができました。

思うに、こうしたひとつひとつのイベントをやり遂げたことが、当クラブのスローガンである「老・壮・青の一体感」の伸展につながったと感じております。

**福島 静雄（川越中央 RC 会長）**

私が当クラブに入会したのが、2001年1月で、2006～07年度は、幹事を経験させて頂き、そして16年目の今年度、会長と言う大役を仰せつかり、プレッシャーで緊張の日々でした。

そんなプレッシャーの中、7月4日(月)の初例会に川越 RC の今泉清詞パストガバナーをお迎えし、ご挨拶を頂きました。当クラブでは、今泉清詞 P G は初例会に居なくてはならない方になっております。

第二回例会が、ガバナー補佐訪問でした。中畠ガバナー補佐は、鶴ヶ島 RC で私の自宅からも近く親しみのある方で、ご挨拶も楽しく聞かせて頂きました。

第三回例会が、ガバナー公式訪問でした。前嶋ガバナー様には、本年度テーマ『知恵と元気を』の卓話を頂き、大変和やかな公式訪問になり、当クラブ会員も27名出席し盛大の内に終了致しました。前嶋ガバナー様には、ご指導頂き感謝申し上げます。

今年度は、会長になってすぐに大事な行事も終わり少しホッとしたことを、今でも記憶しております。一年間を振り返って、長島幹事はじめ会員の皆様そして里村事務局の協力により事業も一つ一つ終了して来ました。

最後に一年間当クラブそしてロータリー関係各位の御指導御協力に心より感謝申し上げ、私の挨拶とさせて頂きます。

**笠間 益伸（坂戸さつき RC 会長）**

今年度、新会員3名増強というただ一つの目標設定をしました。まず年度最初の例会においてクラブ細則第5条会合第2節、第4節を以下の通り改正しました。

「本クラブの例会は毎月第二、第三水曜日 19時00分に開催するものとする」

「定例理事会は毎月第1水曜日に開催されるものとする」

即ち例会の回数を月2回とし入会のハードルを低くすると同時に、理事会に十分な時間をとり理事相互のコミュニケーションの深化を重視しました。このことが効果的であった定かではありませんが、結果として新会員8名の増強となりました。

増強にあたりロータリークラブに入会すると何がいかと問われ？古人いわく「霧の中を行けば覚えざるに衣しめる」よき人に近づけば覚えにざるによき人となるなり。ロータリアンはよき人ですから。

**盛島 美智子（東松山むさし RC 会長）**

一年前「チームむさしで、楽しくロータリー活動」をスローガンにしてスタートいたしました。

本年度は様々な行事がありましたが、まさにチーム力が発揮され、各委員長の綿密な計画のもと、会員の皆様が協力し、1つ1つの事業が成功裏に進みましたことに感謝しております。

財団の地区補助金を申請し、鞍掛橋清流の里に屋外型かけ時計の寄贈、スリーデーマーチゆっくりウオークのサポート、市ノ川河川クリーンキャンペーン等、ロータリーの活動を地域住民の皆様々にアピールできました。

さらに5月18日1000回記念例会には、前嶋ガバナーはじめご来賓の皆様にご参列頂き、新入会員の入会式も執り行われ、無事に最終例会を迎えることができました。



## 第2グループ

## ガバナー補佐 武藤 典夫 (志木 RC)



早いものでライズリー細井年度が既にスタートし2カ月経過しました。前嶋年度の節は第2Gガバナー補佐と致しまして地区内外の関係各位皆様方には大変お世話に成り心から感謝しております。知恵と元気テーマの基に第2G200会員の皆さんと奉仕活動の推進を図る事が出来ました。

近年のRIテーマを垣間見ますとRI戦略計画～人類に奉仕～世界へのプレゼント～他等で「Rの基本方針より良い社会と平和で幸せな世の中を築く事に貢献する考え方」でありRの果たす役割そのものと思っています。これを受け前嶋年でも知恵と元気を掲げ増強、公共イメージUP、人道奉仕を強調する一年だったと思います。減り続ける会員も23年ぶりに30名も増に転じガバナーと共に仲間の皆さんの思いが実を結んだものと、その歯止めにも少し安堵感も感じております。

第2GIMも東上沿線地域商工業の元気活力へ沿線若者リーダー達に依る活性発展の公開討論会型式で開催、このガバナーテーマが大盛会となるIMと成りました。他の4グループもガバナーテーマを尊重し同内容のIMに成り、知恵と元気を共有する一年でした。指導ご協力頂いた方々に感謝申し上げ報告と挨拶に致します。

## 高橋 克安 (朝霞 RC)



2015年12月クラブ内の年次総会にて会長ノミネーとして選出させて頂いてから会長職が始まったと考えておりましたが、終わってみて振り返りますとアツという間の一年半でありました。スタートするにあたり地区役員委員の方々に指導や勉強をさせて頂き、クラブ内では副会長・幹事・会員全員のお力添えを頂き無事に会長職を全うさせて頂けたのではないかと思います。今まで私が思っていましたロータリークラブは参加して感じていたものであり、会長職として活動する中で感じ得たものは格段の違いを生じさせて頂けました。この素晴らしいロータリアンとしての経験をさせて頂けましたことは、自己の成長にも繋げられたものと感じております。ご縁を頂きました全ての方々に深く感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

## 高野 邦夫 (志木 RC)



創立45周年を迎えた志木RC会長の一年も慌ただしくもあり、あつという間の一年でした。記念パーティー挙行の折には前嶋ガバナーのご出席を戴き、有意義で、楽しい会になったことは特に記憶に残る年になりました。

2016～2017年度を振り返って

1. 会員数について：新会員5名 病気等により3名退会。 純増2名
1. 社会奉仕活動：公園へベンチ2ヶ所寄贈（45周年記念）・財団補助金活用による施設へ遊具寄贈
1. 公共イメージ向上：上記事業の報道機関の掲載（読売・埼玉・ニュータイムス・朝霞新報・志木公報誌）
1. 国際・青少年奉仕：青少年交換・米山・財団の学生受け入れ支援

若い世代の新会員を迎え、幅広い会員及び御夫人方のご協力を得て活動できた事に改めて感謝の気持ちでおります。

## 柳田 政男 (富士見 RC)



『地域の中でロータリー』この言葉を1年間のスローガンと決め会員共々行動してまいりました。今、協働の街づくりが求められております。市民、企業、団体、行政が一体となり物事を推し進めて行こうという考えです。ロータリークラブも単体で事業を行うのではなく市民、又は地域の方々と一緒に行動する事、又は支援する事により、認知度と公共イメージアップに繋がるものと確信しております。事例として地域環境団体と協力し、市街地の里山整備やボーイスカウトと合同事業等行う事が出来ました。まだまだRCの知名度は低く、認識して頂くには時間を要すると思いますが、会員同士奉仕の理念で仲良く共に行動していきます。

## 龍山 利通 (新座 RC)



一年間、有難うございました。

## 鈴木 早苗 (和光 RC)



和光ロータリークラブの鈴木早苗です。わたくしはロータリークラブに入会して身の程知らずの3年で会長を仰せ賜りました。1年前、何をどうしてまとめたらいいものかと大変迷い悩み、会員や前年度会長のご指導を仰ぎ、覚束ないながらもようやく年度計画書を作成したことを昨日のことのよう思い出します。

7月から12月までの半年間はロータリーの活動に力を注ぎ、後半の1月から6月は会員を増やすこと（会員増強）に全力で取り組みました。わたくしがなぜロータリー活動を行っているのか、ロータリークラブは何をめざして活動しているのかを、入会していただきたい方々に、丁寧にお話し、正会員1名（50代女性）と準会員1名（30代男性）に入会していただきました。大変嬉しく思います。

わたくしはロータリーの活動は親が子に対して抱くように、見返りを求めない無償の愛に似ていると感じています。そこから学ぶ多くのことを、求められる場所に適切に対応することなのだと思います。活動をしている親や家族の背中を見ながら子どもたちは成長し、自然と同じような行動をとれる継承者を育成できると信じています。

わたくしは、この1年間を通じて、たくさんの友人や顔見知りを作ることができました。それは何にも替え難い財産であり、セミナーに参加したことによって今までの自己を振り返ること（自己研鑽）ができました。

そしてなによりもクラブ会員全員が温かく見守ってくださり、成長させていただきましたことを心より感謝しております。

## 渡邊 栄 (朝霞キャロット RC)



## 「第28回みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰」受賞

我がクラブと朝霞市商工会は本年度、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体を称える国土交通省の大臣表彰を受賞（県推薦）いたしました。表彰式は石川県金沢市で6月10日開催され、クラブの親睦旅行も兼ねて参加いたしました。

この社会奉仕活動は創立2年目の黒目川清掃からスタートし、併せて種から育てた花の苗を幼稚園・保育園・関係者等に配布して環境美化事業を展開したその後、「溝沼・花の里」事業に発展し5年間継続してきたが地主さんの都合で休止し、この地に代わる活動場所を模索していた結果、朝霞市が借り上げた農地を市より委託を受け、「花広場」として当クラブが運営するスタートとなりました。

当時の土地は農地として不適格な土壌であったため、重機で転地返しによる異物の除去と水はけ改良をはかり整地し、堆肥と肥料を施し徐々に「黒目花広場」に相応しい農地に変身しました。本年で10年目を迎え、5月にはポピーの花が見事に開花し、市民の方々から絶好の写真撮影スポットであると大変良い評価を受けました。

## 深澤 隆之 (志木柳瀬川 RC)



少人数であるクラブが故、活動等に無理が生じることも現実ではありますが、その中で自分達に出来ることを精一杯、プログラムを考え、新しい事業は中々実行にまではいきませんが、卓話、継続事業、親睦活動はしっかりと活動してきました。

第一の目標である増強も、もろもろの事情により、勧誘をしてもなかなか入会まで辿り着けないのが現状ですが、少人数であるからそれを追い目に感じ、委縮することなく、今まで築いてきた団結力を持って、互いを思いやり、感謝しながら、今年一年過ごしてきました。年度末の恒例の親睦旅行は、信州安曇野を訪れ、ほぼ全員出席で更なる交流を深め、会員間のクラブ意識を深める旅となりました。

**小島 武 (新座こぶし RC)**

2017年～2018年度の新座こぶしロータリークラブは平穏な一年を終えました。12名の少数クラブではありますが、恒例となっている社会奉仕事業も例年のように実行する事ができました。12名の会員の皆様とりわけ週報作成や事業計画書の作成など事務局の仕事を家族ぐるみで続けてくださる戸高前会長や山田一郎副会長、鹿毛幹事を初めとする10名の会員の其々の部門での活躍で、一年が過ぎました。当クラブではプログラム委員長の山田忠正委員長の発案で、月に一回は各会員の自由な発案でのお任せ例会にいたり、一回は昼間の親睦ゴルフと夜の親睦例会で例会を自由に活用しておりましたので、今年度の例会規則改定には柔軟に対応できました。次年度にむけてお約束の1名増員も叶いましたので、次年度鹿毛利久会長・田中幸夫幹事年度の発展に期待してください。

**第3グループ****ガバナー補佐 野本 俊光 (所沢東 RC)**

前年のIMへの出席から始まり、そして自ら主催するIMまでの一年間は、今振り返るとあっという間の一年間でありました。地区協、ガバナー・ガバナー補佐会議、会長幹事会、ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、地区の各種研修会、IMとその時は忙しい思いをしましたが、今では懐かしい思い出であり、貴重な体験であったと感じております。そして、何よりもガバナー、同じガバナー補佐や各クラブの会長・幹事の皆さんと知り合うことができたことは、ガバナー補佐という役職をいただいた賜物であります。あらためて皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。今後はこの体験を生かし、ロータリーの発展に微力ながら寄与すべく活動していきたいと思っております。

**西山 祐三 (入間 RC)**

1年は早いもので、年度最終月となっております。思い起こせば昨年3月13日(日)にPETSが紫雲閣において開催され、前嶋修身ガバナーエレクトの次年度方針をお聞きし、長い1年間が始まりました。4月24日には地区研修協議会、そして7月新年度に向けて準備に忙しい期間でした。今年度会長方針は、まず第1は「会員増強」、目標とおり3人の方が入会しております。第2として「奉仕活動、広報活動」、教育委員会へのタブレット寄贈、入間わかかさ高等特別支援学校へのバスケットボール部ユニフォームの寄贈、入間市地域交流研修会でのロータリークラブ活動報告等の発表を致しました。1年間会員皆様方のご支援ご協力賜り大過なく終われることを感謝申し上げる次第です。

**中 保憲 (所沢 RC)**

一年間有難うございました。

**小川 晃男 (飯能 RC)**

私にとってこの一年は1905年から続くロータリークラブの歴史を振り返る日々でした。ポールハリスの生涯、シェルドンの思想、米山梅吉、福島喜三次のロータリーへの関わりから、戦後のロータリーの現在までの変遷について、自分なりに勉強いたしました。その歴史を通じて連綿と続く奉仕(service)の精神について、少しは理解することができたかなと思っています。しかし、その内容を会員の皆さまに十分には伝えきれなかったのが少々心残りです。クラブの運営については、すべての会員の努力と協力をいただき恙なくスケジュールをこなすことができました。無事に次年度へ襷をわたすことができそうです。ここに改めて皆さまに感謝申し上げます。

## 磯田 力彦 (新所沢 RC)



先ずは、前島修身 2016～17 年度ガバナーご苦労様でした。ガバナーエレクト 1 年を含めれば 2 年間の心労は並大抵ではなかったかと思えます。当該ガバナー年度では 5 大奉仕部門でそれぞれ見事な成果を上げられ敬意を表したく思います。誠に疲れ様でございました。

私のクラブ会長は 2005 年に続いて 2 回目の会長就任でした。クラブ会員数の減少など様々な事情に由ったわけですが、会員の協力により何とか大事に至らず任期を終えることができました。また、16～17 年度は当クラブにとって創立 45 周年でしたが、2017 年 4 月 18 日に式典並びに記念事業を無事滞りなく行った次第です。

## 清水 敬一郎 (日高 RC)



まさしく、青天の霹靂というべき出来事でした。昨年の地区連絡協議会の資料に、次年度ホストクラブとして日高ロータリークラブの名があるではありませんか。4 月といえば、次年度への準備もすっかり整ったところですよ。

会員数 18 名の小さなクラブにとって、初体験の大きな役割。激動のまま迎えた新年度でした。幸いガバナーエレクト出身クラブ皆さんの応援と、親クラブである飯能 RC による全面的な支援をいただき、無事開催することができました。そして何より、メンバーひとり一人の協力の賜物と感謝しております。

生涯忘れる事のできない、一年となりました。

## 内田 学 (所沢西 RC)



2 年連続の会長を会員の皆様に助けられて、ようやく終わることが出来ます。私事です、2015 年度の会長の時、秋口から会長エレクトに振り回され（アドバイスしても聞く耳を持たず）長い間培ってきた台湾 吉安扶輪社、所沢市内 5 クラブとしての活動を、次年度は改め 1 クラブとしての活動をすると言われ、次年度はつまらないと感じていたところ、2016 年 3 月 27 日地区大会から帰って来た時、突然の電話で「会長エレクトを辞退するよ」のことを言われ、あわてて所沢の 4 クラブの次年度会長、幹事の方々に連絡を取り、5 クラブ共同での活動をお願いしました。何人かの会員の方は、私が会長だから一年残って頂きました。自分では、身体は丈夫と思っていましたが、8 月 2 日に緊急入院をし、生死をさまよい、気が付いたら 8 月 12 日でした。3 ヶ月半後退院、リハビリ等でクラブの会員の皆様には色々ご迷惑をお掛け致しました。2 年間もの間ご協力有難うございました。

## 石田 嵩 (新狭山 RC)



今年の最大目標でありました会員増強は、入会 6 名、退会 4 名、実増 2 名で終わってしまいました。

創立 30 周年記念式典は当初の計画に無いものでしたが関係各位のご協力により開催することができました。特に公開記念講演会の今泉清詞パスト会長の『ビルマ戦線からの生還』は大変素晴らしい講演となりました。

姉妹クラブであるソウル新羅 RC との関係は、4 月に一行を山梨と川越に案内して歓迎例会を開催、若い会員も交えて両 RC の友情を更に深めることができました。

インターアクトクラブ関係では、七夕祭での募金活動、学園祭でのうどん販売、ロードサポート活動を行いました。今年度は公開講演会を 6 回開催し、ロータリーの公共イメージの向上に役立てることができました。



### 中島 洋志 (所沢東 RC)



2016年7月7日木曜日、いよいよ中島年度スタートです。緊張の連続で第1回理事役員会を済ませ例会場へ。嬉しいことに会場が満席で100%の出席でした。そこでの会長交代セレモニー、そして新入会員入会式、それもこれも感激、素晴らしい我がクラブの団結力と思いやりを感じながらスタートが出来ました。その日の委員会報告はIM実行委員会より本日例会後に委員会を開催しますとの報告でした。初例会から我がクラブの行動力で野本ガバナー補佐を会員一同でバックアップする体制が敷かれ、翌年2月9日には素晴らしいIMが開催されました。実行委員会の皆さま本当にありがとうございました。

8月20日午前5時、羽田空港にフランスより交換留学生Amic Ewen君が来日しました。エヴェン君の受入れが決定したのが6月と遅く、事業計画も予算も決まってしまうからの受入れ、てんでこ舞いの中、右往左往。市内4クラブに相談し協力と支援を得ることが出来てやっとスタートできました。今頃は無事に帰国している事と思います。

年末の親睦例会と今年度最終例会とも100%の出席でした。素晴らしいクラブの会長をさせていただき皆様の御協力と御支援に深く感謝致します。最後にひとつ残念な事は、5月に最長老の森田辰男会員が89歳でお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りします。1年間ありがとうございました。

### 石川 伸一 (入間南 RC)



一年間、有難うございました。

### 石田 善雄 (所沢中央 RC)



友好クラブである甲府シティRCを招待しての大相撲観戦を企画しました。久しぶりの日本人横綱の誕生となる場所にめぐり合い、友好クラブとの親睦を深めることができました。しかし、反省すべき点も多くあります。29名で出発した会員数が、病気、高齢化による退会者5名を含め7人が退会し、増強はゼロという結果になりました。当クラブの年齢構成からしてこの傾向はこれからも続くように思います。特に若い人の入会を促進するような増強戦略を立てなければと思います。また例会そのものを面白くするためには卓話の構成を担当するプログラム委員会を充実させなければならないと思いました。「増強とプログラム」に関しての充実・強化を実感した1年でした。

### 佐藤 圭司 (狭山中央 RC)



今年度の国際ロータリー会長ジョン・ジャーム氏は「人類に奉仕するロータリー」をテーマとし、国際ロータリー第2570地区ガバナー前嶋修身氏のテーマは「知恵と元気」でした。

我が狭山中央ロータリークラブは「地域に根付いたロータリー」をテーマにし、狭山の人々にロータリーを広く知って頂く必要があると考え、市内で頑張っている「三世交流 さやマーチ」と「こども食堂」この二つのボランティア団体に決めて行くことになり、色々勉強していくうちに、日本の子育て環境の悪化やこどもの貧困問題などの現状に直面し、大きなショックを受けました。こども食堂のパンフレットにこんな記事が書かれていました。「こんなに豊かな日本なのに、お腹が空いて困っているこどもがいます。事情は様々です。(中略) そんなこどものお腹と心を少しでも満たしてもらえると、私たちは活動を開始しました。」というメッセージを見た時に、これは黙ってはいられない、これこそ共感できる我々のテーマだと思い、ロータリーの仲間と声を掛け、私たちも微力ながら動き出しました。フリーマーケットで得た資金や地域補助金制度など利用したり、ロータリーの会員個々からの寄付金などを集めて応援をしてきました。

子育てからこどもの貧困、そして食の問題へとテーマは大きくなりますが、現状から目を背ける訳にはいかず、次年度にも続く継続事業と決めて応援することにもなり、多くの仲間の共感を得ることが出来ました。また、本当に色々な経験をさせて頂いた事、ロータリーの会長という立場に置かれて初めて感じる事が出来ました。貴重な人生勉強をさせて頂いた事に「感謝」の言葉しかありません。一年間本当にありがとうございました。

## 第4グループ ガバナー補佐 佐橋 正行 (寄居 RC)



前嶋ガバナーは「知恵と元気を」をモットーに会員増強と出席率向上を呼びかけ、地区の重点目標の1番目に「仲間を増やそう」とされ、右肩下がりに減り続けた会員が、23年ぶりに純増になり、ガバナーの強い思いが、結果として底を打ち純増になったと思います。前嶋ガバナー年度に、ガバナー補佐として、学ぶ機会を頂き、前嶋ガバナーや同期のガバナー補佐の皆様、第4グループの会長幹事の皆様、そして多くの方との出会いがありました。

補佐訪問、ガバナー公式訪問には、各クラブの皆様、暖かく迎えていただきまして、感謝しております。クラブの訪問は、様々の会場で、それぞれに雰囲気もよく、有意義なクラブ訪問となりました。会長幹事の皆様には、大変お世話になりました。

IMは「思いやりを永遠に」とし、協議会では、クラブ会長さんによる、知恵を使って元気になるような、現況報告及び取り組みについて、発表して頂きました。その後戦国ドラマをご覧頂き、楽しいひと時を過ごし、グループ全体の親睦が深まる場となりました。

地区大会やその他の行事など、第4グループの会員の皆様方にご協力いただきまして、感謝申し上げます。

## 持田 敬太郎 (深谷 RC)



昨年の7月5日の第一例会からスタートし、今年6月27日のさよなら例会が48回目の例会だった。会長職の一年は『長い様で短い一年だった』と言う会長さんが多いと思うが、私はやはり長かった気がする。その大きな要因は、ロータリーの為の用事が多すぎる事だと思う。特に地区の行事や会議では、ほとんど会長、幹事に出席の要請が来る。これは負担も大きく、非常に大変だった。多くは各委員長、担当のメンバーで済む事だと思うのだが。会長としては、もっと色々な奉仕活動に力を注ぐべきで、ロータリーの為のロータリーはもう良いのではないかと思う。この様な忙しすぎる事が会長職をやりたがらない大きな要因の一つでもある。

非力な私の考えが少数派なら良いが、多くの会長さんが同じ考えを持っていたら…ロータリーは大変なことになる。

## 中島 高夫 (本庄 RC)



本庄ロータリークラブ創立54年目の歴史と伝統のあるクラブの会長とし責任の重大さを感じながら、2016～17年度が7月にスタートする事ができました。会員72名の素晴らしい仲間達と共に、クラブテーマを「親和と誠実」奉仕が繋ぐロータリーの輪の基、精一杯勤めることができました。ロータリーには職業奉仕という奉仕活動があります。会社や自らを磨き発展させることで地域社会や国際社会に奉仕をするという活動があります。地域社会への社会奉仕の一環としてロータリー希望の風チャリティー講演会を女優の東ちづるさんを講師に迎えての講演を行いました。一般市民の皆様方には入場無料として500名の参加をして頂きました。参加者の皆様から心温まる多額の寄付金をして

もらいました。この活動を通じてロータリーの公共イメージと認知度の向上になったと思います。会員増強に於いては退会者も出ましたが7名の増強をすることができました。

## 町田 靖夫 (秩父 RC)



「心安らかに次世代に繋げる」、私の会長としてのテーマです。

病気による退会が目立つ昨今、私は「会長の時間」に、自分のテーマに沿った卓話を行い、結びには、会員・大切な家族そして従業員の無事と、健康と、心安らかなることを祈念する「おまじない」を言い続けました。

そして、スマイルサポート委員会の発案で、毎例会時に、幹事が紹介した会員ひとりが、5分間の自由スピーチをすることにしました。

小さな行為の積み重ねですが、前嶋ガバナーが切望した「とにかく元気なクラブを作る」、我がクラブの今年度の試みと言えます。

クラブ会長の職を無事務め終えることができ、皆様には感謝し、安堵しております。

## 柴崎 猛 (寄居 RC)



僭越ながら、伝統ある寄居ロータリークラブ会長に就任して一年が経とうとしている。ガバナー補佐の輩出、それに伴う IM の開催、50 周年記念式典の開催と目まぐるしい一年であったが、お陰様で大過なく過ぎようとしている。これも地区役員、第 4 グループの会長幹事、そして当会の役員を始めとした会員各位のおかげである。当初私は正直な話、数多就いている公職を盾に、今回の人事には余り乗る気ではなかった。それが前島ガバナーとのご縁や、父がチャーターメンバーであることからお受けしたが、今では感謝している。いろいろな方々との新しいご縁をいただき、極め付きは世界大会に参加できたことだ。「縁尋機妙、多逢勝因」を実感する一年だった。

## 春山 良夫 (児玉 RC)



児玉ロータリークラブは、会員減少が顕著（3 名）のなか、ロータリークラブの存続さえあやぶまれてる状況で会長としてスタートしました。と同時に、クラブ事務局も兼務で、右往左往の 1 年間を過ごしてまいりました。

他クラブ会員より、「会員がいなければ何も（奉仕活動）できないのでは」の問いに、児玉クラブ会員は一人ひとりが、地域社会に「何をすべきか」を目標を立て社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕等実践活動に取り組みました。

特に、当クラブ内には江戸時代国学者「堀 保己一」生誕地で各種団体と共に事業活動に参加してまいりました。

又、事務局の経験からクラブの運営・活動状況・収支決算等の現状分析が出来貴重な経験となりました。残念なことに、地区各部門セミナー開催に欠席がちで後悔しております。

最後に、第 4 グループの会長・幹事の皆様方のご支援、前嶋修身ガバナー・佐橋正行ガバナー補佐様にはご指導いただき感謝申し上げます、一年間ありがとうございました。

## 舘野 唯雄 (岡部 RC)



会長として最後の例会前に自分の活動方針を改めて読み直した。

「会員増強・親睦・奉仕、原点に戻りもう一度考えてみたい」

この活動方針が 1 年の間に実行する事ができたのか。

「会員増強」増やす事はできなかったが、ロータリーに興味を持っている方にお会いし、話を進める事ができた。今年度会長、増強委員に続行してもらおう。

「親睦」自分の子供よりもはるかに若い会員と、例会時に意見を交換したり、話し合いを重ねられた事。若い世代の意見も聞け、とても良い関係がもてた。

「奉仕」職場見学、除草作業、ホテル観賞会、少年サッカー大会、ゴミ拾いなど、地域に

密着した奉仕活動を実践した。

100%とは言えないが、実行できたのではないだろうか。

この 1 年、大変な事も多々あったが岡部ロータリークラブ会員の温かい互い助け合いの心で会長を無事に終える事ができました。

## 正田 康高 (深谷東 RC)



「光陰流水の如し」と申しますが、会長を仰せつかるに当たり 1 年 6 カ月、水の流れのように止まることなく過ぎた気がします。今、思えば年間 54 回の例会や事業が終わり、安堵しております。

昨年 3 月に理事・役員顔合わせから始まり、今年度の方針・運営の詳細を発表し、年間で実施する例会・事業・活動を新たに 15 項目提案させていただきました。対外的な事業や海外姉妹クラブ訪問、広報活動に力を入れ「公共イメージ・アップ」など当クラブに限らず、他クラブを巻き込んでの事業も行いました。

7 月からの新年度を迎えるに当たり、4 月の事前理事会から第 1 例会を夜間に変更することや 3 年に 1 度改正される規定審議会の定款の変更、更には時世に沿うた IT・SNS 委員会の設置など準備段階から 1 年やりとおせるのか不安でした。国際奉仕委員会や姉妹クラブ委員会、親睦活動委員会の委員長をはじめとするスタッフに大変助けていただき、毎月、新しい事業や活動を投げかけ、対応して頂いたメンバーには衷心より感謝申し上げます。

## 鈴木 正浩 (川本 RC)



今年度のスタートは、多難な出発でした。クラブの事情により、二年連続で会長を任せられ、例会場は毎年のように常に使用できず、会員の年齢の増加・会員の減少…等、問題は山積みでしたが、何とか一年が終わりホッとしています。幹事には、未熟な会長を二年も助けて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。

活動としては、例年通りにできない部分もありましたが、後援・支援や「はがき回収事業」等、他クラブとも協力してできる所はできたので良かったと思います。

何と言っても、川本クラブは会員数が少ないので増強が一番の課題です。少しでも増強できるように、他の団体とも会合を開催することができたので、次年度は必ず入会をして頂けるように、引き続き努力したいと思います。今後とも、川本クラブをよろしくお願い申し上げます。

## 宮前 英雄 (皆野・長瀬 RC)



2016～2017の一年は、私自身の健康のことがあり会長としての役割を果たすことができなかった一年でした。(6月中頃に年が明け4月下旬2回の臓手術) 9月のガバナー公式訪問はできましたが、地区大会、IM、会長幹事会、研修セミナー等ほとんど出席できず、幹事、会員に協力していただきました。クラブが計画した社会奉仕事業の「みなの中の山マラソン大会・長瀬子供育成会球技大会」地域イベント等への協賛等も成功裏にできました。会員増強は出来ませんでした、何とか維持することができました。

## 村田 貴紀 (本庄南 RC)



一年間本当に有難うございました。

本庄南ロータリークラブ第24代の会長の職をなんとか恙無く終えようとしている今日、改めて振り返ると本当にあっという間の一年でありました。

『出席なくして親睦なし。親睦なくして奉仕なし。』と言われながらも、親睦の奥深さを感じました。今年度テーマとしまして「知り合いを広め奉仕の機会とする」と致しましたが、機会創出の難しさを痛感し、大変勉強になりました。不徳の致すところでございます。

終わりに本庄南ロータリークラブの全会員への感謝はもとより、前嶋ガバナーをはじめグループ内外の会長幹事様とは楽しい一年間のお付き合いが出来ましたこと、紙面を借り御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 横田 政弘 (深谷ノース RC)



去年の今頃は会長になるべく、たくさんの勉強会等に参加して、忙しくしていた事を思い出します。いざ走り出してしまうと早いもので、次年度会長へバトンタッチという状況に安堵しております。

一年間会員の皆様方、他クラブの会長・幹事の皆様に支えていただいて無事任期を終えることができ、本当に感謝しております。又、会長職を経て、ロータリー活動の必要性及び重要性を再認識できました。これからもロータリー活動に積極的に参加し、会員の皆様に恩返しできるように頑張っております。一年間有難うございました。





## 第5グループ

## ガバナー補佐 湯本 茂作 (行田 RC)



この度、ご縁が有りまして行田ロータリークラブより私が（湯本茂作）第5グループガバナー補佐をお受けする事になりました。当初はどういう役なのかがドキドキでした。補佐訪問とIM（インターシティーミーティングをこなせば何とか成ると覚悟を決めました。各クラブへの補佐訪問時には、最初は訪問クラブの内容を確認させて頂きお話をさせて頂きました。中程は、前嶋ガバナーの目標としている会員増強のお話と付随したお話を、結びに補佐としての立場からのお話をさせて頂きました。6回の会長幹事会では、各クラブさんの現状報告を頂きました。毎回報告をお聞きし、各クラブさんの力強い活動を知ることが出来ました。大変有意義な時を過ごさせて頂き心より感謝申し上げます。

## 田久保 眞理子 (熊谷 RC)



2016-2017年度は、我が熊谷ロータリークラブから前嶋修身ガバナーを輩出した一年でありました。ご協力頂いた地区の皆様と他のクラブの皆様には先ずは心からの御礼を申し上げます。また、この1年間は周年記念事業が多く行われ、親クラブとしてご招待頂き、他のクラブの会員の方々と親睦を深めることが出来ましたことも有り難く思います。6月にはアトランタでの国際大会に参加したことで、世界のロータリーを肌で感じる事ができる貴重な経験となりました。

さて、熊谷クラブの会長としての任務は、決して誇れるようなものではなかったと反省ばかりですが、田中哲夫幹事と新井隆副会長の強力な、そして寛大なお力添えを頂いて何とか乗り切ったのだと思います。親睦家族旅行は島根、鳥取に行き、松江ロータリークラブの会長、幹事、そして庄司尚文 2690 地区ガバナーにもきて頂きました。親睦委員会の方々が2月に下見に行ってお下されたのですが、あの大雪の中、命がけと言ってもよいような状況の中で準備してくれました。この委員会のみならず、クラブ運営は各委員会の皆さんからのサポートがなければ成り立たない事を痛感致しました。何ら積極的な活動は出来ませんでした。会長の経験から熊谷ロータリークラブの現状を把握することは出来たと思いますので、これを次に繋いでいけたらと願っております。

最後に第5グループの会長、幹事会で大変に楽しい時間を共有出来ましたことを、湯本茂吉ガバナー補佐、そして各会長と幹事の皆様にも御礼申し上げます。

## 大野 年司 (行田 RC)



昨年は、前嶋ガバナーはじめ関係の皆様には、大変お世話になりました。まずもって心より御礼申し上げます。誠に有り難うございました。

行田ロータリークラブの50周年関連の事業を始め、他に予定したすべての事業が、皆様のご協力のお蔭様で予定通りにでき、皆様に感謝の気持ちで一杯です。同時に大変嬉しく思っています。

各事業を通じて、ロータリーの仲間の素晴らしさを、改めて感じさせていただきました。このことが、私にとりましての最高のプレゼントでした。大変素晴らしい機会を与えていただきました皆様に感謝を致しております。ありがとうございました。

## 安野 正樹 (羽生 RC)



縁あってクラブ創立50周年という大切な節目の年に会長を拝命しました。これまでの諸先輩の歩みに感謝し、またその思いを次の世代へと伝えていくことが、取りも直さず私に与えられた責務と考え、この周年のテーマを「未来への思いを行動に」とし、一年を過ごしてまいりました。

従って記念事業は次世代である青少年に向けたものとなり、祝賀式典でも京都清水寺の森貫主に「未来をつくる心」という演題のご講演を頂戴しました。正直難儀なこともありましたが、その分思い出深く充実した、よい一年になりました。前嶋ガバナーはじめ関係各位の皆様には心より深甚なる感謝を申し上げ、結びといたします。有難うございました。

## 野本 幸弘 (加須 RC)



振り返れば2年前に会長エレクトロに推挙され身に余る光栄とともにその重責に熟慮したことが思い出されます。「ロータリーって何？」と聞かれた時に「ロータリーは奉仕と親睦です」と型通りの答えしかできない私でしたがクラブ会員のご協力とご支援にて何とかその責務を終えてホッとしている今日このころです。

他のクラブの会長、幹事との交流の機会もあり他のクラブの活動状況等の意見交換する場も多く、また地区での研修会へ参加する機会もありロータリーについて多くのことを学ぶことができ有意義な1年でした。

クラブの目標、会長の運営方針としていくつか挙げ特に会員増強と出席率の向上には特に力を入れてみました。十分とは言えないですが自分自身ではまずまずかな？と思っています。

この1年は人生においても貴重な経験をさせて頂いた1年でした。皆様方のご理解ご協力で誠にありがとうございます。

## 長谷川 修 (熊谷西 RC)



クラブ内では諸先輩方よりフォローするから大丈夫とお声掛けをたくさんいただきましたが、不安ばかりで一年間身体が持つか、とても心配をしていました。

月日が経つにつれ、会長幹事会などを経験していく内に他クラブの会長、幹事の皆様より、色々お話を伺い、クラブ運営の参考にさせていただきました。

今期に関しましては、会員増強をメインとしてクラブメンバーと1年間を過ごしてまいりましたが、残念ながら会員増に繋がらず、来期に向けての課題としてまいりたいと思っています。今期は前嶋ガバナーを始め、湯本ガバナー補佐、第5グループの会長・幹事の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

## 五十幡 和彦 (行田さくら RC)



今年度は前嶋ガバナーの地区方針「会員を増やそう」「例会の充実」「公共イメージと認知度の向上」を達成すべく、クラブテーマを『我れ磨き 事業を磨く ロータリー』と定め①例会プログラムの充実、②会員増強、③事業を磨く「我等の生業 第2集」発刊、④樹齢600年の行田市指定記念物満願寺のシダレサクラ再生、⑤行田市へのレンタサイクル10台寄贈、⑥ものづくり大学さくら奨学金の166万円積増、⑦冠イベント・行田さくらロータリー杯ミニバスケットボール大会の発足、⑧国際ロータリー2570地区細井保雄ガバナーエレクトへの全面的協力と支援、に取り組んで参りました。会員皆様のご協力のおかげで新入会員は10名、純増9名を達成し、新聞記事にも6回取り上げて頂くことが出来ました。

## 石井 典男 (熊谷東 RC)



熊谷東ロータリークラブ会長を1年間務め、大変充実した日々を過ごさせていただき誠に有り難うございました。私が会長を仰せつかった年度は、クラブ創立40周年記念事業を行う予定になっていて、通常の年よりも周年記念事業のことも考えなくてはならず対外的な折衝もあり、やりがいのある年度でした。会長としてワンイヤールールを存分に活用し、クラブの運営に努めました。印象に残っているのは、記念時計塔を市庁舎前に設置し、関係各位のご厚意によりテープ・カットを行ったこと、また当クラブが37年間継続している熊谷青少年剣道大会を、東日本大震災に遭われた地域の少年剣士諸君を招待して、例年以上の規模で挙げてきたことも印象に残っている事です。1年間支えてくれたクラブの全会員諸氏に感謝申し上げます。

## 山崎 研 (吹上 RC)



一年間、有難うございました。

**中村 広喜 (熊谷籠原 RC)**

任期を終えるにあたり、クラブの皆様にご協力を頂いた1年間で有ったと改めて感謝を致しております。

振り返ってみれば、世間にアピールするホームページが必須だと表紙用に愉快的な集合写真を撮影したり、様々な活動を Facebook に投稿し拡散を企てたり、籠原夏祭りに浴衣を着て RC 宣伝団扇を配ったり、就任したての勢いでありました。

ロータリー入門書に、任期の1年交代を実施するのは多くの会員に奉仕の勉強をして欲しいからですと有ります。

まさしく貴重な経験と勉強をさせて頂きました。有難うございます。この機会を作って頂いた皆様に感謝申し上げます。

**渡邊 藤男 (熊谷南 RC)**

今年度は年度初めより 20 周年の記念行事を行なうということで実行委員会を立ち上げ委員会の中で色々な意見を出し合いながら一年間やってきました。

一人では中々考えられないようなことも皆さんと意見交換する中で色々な発想、そして色々なご意見の元に決定し実行していくというスタイルを取らせていただきました。

今年度の南 RC のテーマとして『ロータリーを学んで実践そしてエンジョイ』を掲げておりましたので、まさしくテーマを実践できたのではないかと考えております。また 20 周年記念事業として「伊勢町ふれあい公園」におきまして当クラブの 20 本目のさくらの植樹と記念碑の設置などを行ないました。これはクラブの永続性を考える上でとても大切な事業ですのでこれからも続けていきたいと思っております。

そして、今年はロータリー財団 100 年ということもあり、100 年以上続く企業から学ぶということで地元の企業から卓話をしていただきました。会員の皆様には気付きという点でかなり刺激になったのではないかと思います。

結びとなりますが、今年度は他団体を招いての卓話、そして他クラブとの合同例会なども活発に行っていました。自分のクラブの例会だけだと気づかないところ等も勉強になったのではないかと思います。一年間気付きと学びという点を重点に例会を進めてまいりました。会員の皆様にはご協力有難うございました。

**地区部門委員長****クラブ奉仕部門委員会 委員長 水村 雅啓 (入間 RC)**

前嶋年度のクラブ奉仕部門委員会は、会員増強、出席率の向上、公共イメージと認知度の向上を最大のテーマに活動してまいりました。会員増強では、各クラブがクラブの風土と持ち味を生かし独自の活動で増強が達成できるよう、地区協議会や2回のセミナー、例会卓話等でサポートをしてまいりました。公共イメージでは、メディアに取り上げてもらえるノウハウも学びました。お陰様で、20 年来の会員減少に歯止めがかかるなど、少なからず手ごたえを感じた年度でありました。前嶋ガバナーはじめ、部門のメンバーに支えられ、そして何より各クラブの会長、会員の皆様にご理解ご協力いただいたことで一年を終えることができたと感じます。改めて、深く感謝を申し上げ、ご報告と致します。

**職業奉仕部門委員会 委員長 武田 哲 (深谷東 RC)**

ロータリーは奉仕を学び実践する場と言われますが、その「奉仕の理念」を会員と共に理解する事を部門の最大の仕事としました。

ロータリー発展の基となった「奉仕」の考えは現在主流の人道的奉仕ではなく、永続的に事業を繁栄させる結果となる「サービス」行為をシェルドンが経営学的に説いたものでした。取引の相手の満足度を最優先に考え行う「サービス」を「奉仕」と理解すれば「職業奉仕」で社会に奉仕する事業経営が出来ます。

5 グループ毎少人数での出前セミナーで、「奉仕の理念」の議論が深まった事は収穫でありました。RI の潮流には沿いませんでしたが、前嶋ガバナーにご理解を頂き委員会の皆様の協力で手応えを感じた一年でした。

### 社会奉仕部門委員会 委員長 齋藤 栄作（入間 RC）



2570 地区 51 クラブの社会奉仕活動のヒント、サポートを第一に「公共イメージと認知度の向上」に結びつく社会奉仕活動の推進」を4つの委員会が一丸となって活動しました。

9月24日には部門セミナーを東松山紫雲閣にて約80名のロータリアンの参加をいただき質疑応答形式で開催する事が出来ました。

地域社会奉仕委員会は2570地区のHPの充実を図り各クラブの社会奉仕活動並びに関連したニュースを掲載することにより「公共イメージと認知度の向上」に結び付ける努力をしました。アイバンク委員会はアイバンクへの理解を深めていただくために活動しました。「献眼は人生最後の最高の奉仕である」と確信し活動を推進しております。

世界遺産・文化遺産登録推進委員会は埼玉古墳群の世界遺産登録、無形文化遺産登録の推進を通し各クラブが地域で活動する社会奉仕活動財産の再発見を促しました。2016年10月21日にはさきたま古墳研修セミナーを「さきたま古墳」で行いました。

ブライダル委員会は2007年に再発足して今年度で9年目を迎えました。ロータリアンに推薦された方々の結婚の相談を受けております。現在男女合わせて53名の登録者数で過去の成婚は11組でした。登録者数100名を目指してがんばっています。

1年間ご協力を賜り誠にありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

### 国際奉仕部門委員会 委員長 井桁 憲治（熊谷東 RC）



国際交流委員会では、41回目の日豪青年文化交流事業が前年度に増して、更に充実したものとなり、いよいよその完成度が理想的に成長を遂げて来た内容で完了しました。大館委員長のもと、飯田団長の二度目の団長の務めが功を奏した賜物で成果を挙げられました。団員募集の工夫も地道な広報と、事業の実績が実を結んできております。前嶋ガバナーの後押しを頂いた事も、力強い味方となってこの事業が、益々前進する事に確信しております。

国際奉仕委員会は、熊谷クラブの地区大会に、昨年の高柳ガバナー年度の地区大会でお迎えした、ミャンマー国の大使を、1日目のメイン講師としてお迎えする事が出来ました。この件では、田中委員長と何度も大使館に足を運び、実現にこぎつけました。地区大会の11月に、アウンサン・スーチ国家最高顧問が来日して、居ましたので、大使が来熊出来るか、難しい局面に前日の深夜までハッキリとしませんでした。未明に田中哲夫委員長の所に、第一秘書官から大使本人が来ると連絡があり、実現を見た事をお知らせし致します。田中委員には、眠れぬ様なお骨折りに、本当にありがとうございます、感謝申し上げます。

国際奉仕部門の事業は、ミャンマーへの支援、今泉PDGのご指導の下、遂行出来ました。フィリピンへの支援も、委員会フィリピンの小学校の支援としてバギオノースRCに直接持参して参りました。タイ国へのグローバルグラント協力支援は、6,300ドル米をRI財団へ日本事務局を通して実施致しました。

感動させられたことが有りました。川越RCの石井会長さんから、毎月の食事代を節約して貯めた資金を、海外の飢饉で苦しんでいる子供達に贈りたいので、何処に送ったら良いのかと、お申し出を受けました。川越RC素晴らしいですね。

ここに、ご理解ご支援賜りました皆様に心から感謝申し上げます。

### 青少年奉仕部門委員会 委員長 宮原 克平（志木 RC）



正直申し上げます、慌ただしい一年間でした。青少年交換プログラムではホストクラブの受け手が無く、来日学生にはビザ取得の書類が送れず、国際問題に発展するかと思ったほどです。幸いギリギリになって手を差し伸べて頂いたクラブが有り、事なきを得る事が出来ました。本当に感謝しています。また、名古屋で開催された第5回全国インターアクト研究会に出席して驚いた事は他の地区では生徒が中心になって活動方針を決めて活発にインターアクトクラブが活動している事など目の当たりにして刺激を受けました。忘れられないのが坂戸RC50周年記念として提唱された城西大学ローターアクトクラブが4月に誕生した事で今後の活躍を期待しています。

### ロータリー財団部門委員会 委員長 柴崎 典一（深谷 RC）



未来の夢計画「Future Vision Plan」が実施されて丸3年が経ちました。財団プログラムが大きく変革し、グローバル補助金、新地区補助金などの制度と、6つの重点分野に沿った事業展開が求められ、徐々に定着しています。寄付金推進については、前嶋ガバナーはじめ地区会員の皆様のご理解により年初目標とした会員1名200ドルを達成した見込みです。財団奨学生については女子2名を米国と英国に派遣しました。更に女子2名の奨学候補生を対象にした年5回のオリエンテーションも終了し、派遣のみとなっております。

ポリオ撲滅支援活動については、パキスタンとアフガニスタンで8件の発症例がありますが、ワクチン予防接種の継続が大切に思われます。ご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。当地区財団部門委員会の今後の課題としては、学友会への計画的支援と交流を確立することだと思います。

### ロータリー米山記念奨学部門委員会 委員長 忽滑谷 明（入間 RC）



前嶋修身ガバナーはじめ多くの先輩の皆様にご指導をいただきながら米山記念奨学部門委員長として一年間務めさせていただきました。誠にありがとうございました。

当地区では、2016年4月より2017年3月までの間、16名の奨学生を受け入れました。カウンセラーさんはじめ世話クラブの皆様方には大変お世話になりました。また、10月の米山月間では、多くのクラブより奨学生の卓話依頼をいただき、米山記念奨学事業推進についてご理解をいただきました。誠にありがとうございました。

地区事業といたしまして、奨学生にはRの森清掃奉仕活動、秩父音頭まつり、一日研修旅行での米山記念館来訪及び墓参、クリスマス会、地区大会などに参加してもらい、日本の文化や素晴らしさを肌で感じていただく事ができました。奨学生には、将来、日本と母国との何らかの懸け橋となるような活躍を期待しております。

### 危機管理委員会 委員長 矢部 善明（熊谷南 RC）



本年度一年間、危機管理委員会において、対処すべき事案はなく、無事、一年を終わらせることができましたことは、皆様のおかげと感謝しております。

他の委員会と違い、当委員会は、危機がなく、対処事案がないことが、なりによりも最も良い活動であったともいえるかもしれません。ただ、万が一の危機が発生した場合の対処については、平時からの準備、研鑽、そして、危機対処の為のシミュレーション等、平時の活動もおろそかにできず、充実させなければならないものですから、今後も、皆様のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

### R L I 委員会 委員長 野口 健吉（東松山むさし RC）



恒例のR L I 研修セミナーを主に会長エレクト及び次年度幹事を対象に9月から始め延べ3日間無事に終了でき、参加下さいました会員の方々に感謝申し上げます。

残念ながら本年3月に開催したDL養成コースについては出席者が少なく、次年度には是非DL養成コースを受講して頂きDLとして活躍して頂ければ幸いです。

本年度は、初めての開催でしたが福井県在住のプロファシリテーター富永良史氏を招いてセミナーを開催させて頂きました、実践に役立つテクニック、資料等により多くの事を学ばせて頂きました。この研修を次年度に活かしてR L I 研修セミナーを充実させていけたらと思います。



## 「米山学友会総会&新規奨学生歓迎会」報告

ロータリー米山記念奨学部門委員会 委員長 忽滑谷 明 (入間 RC)

6月4日(日)、川越東武ホテルに於いて第2570地区米山学友会総会及び2017年度新規受入米山記念奨学生の歓迎会を開催いたしました。

学友会総会では、周大亮(秩父RC、中国)学友会長が議長となり、2016年度活動報告、2017年度活動計画等が審議され承認されました。ご来賓として、前嶋修身ガバナー、そして諮問委員である野中弘之パストガバナーにご挨拶をいただきました。

総会終了後の新奨学生歓迎会では、忽滑谷部門委員長の開会の辞に続き、前嶋修身ガバナー、米山記念奨学会理事加藤玄静パストガバナー、高柳育行前年度パストガバナーにご挨拶をいただきました。歓談後には学友会会員そして各クラブの出席者による自己紹介がなされ、新奨学生に対し激励の言葉等をいただきました。最後に「手到手つないで」を合唱し楽しい一時が終宴となりました。今後とも米山記念奨学事業に対しましてのご理解ご協力、そして新奨学生に対し暖かい応援をお願いいたします。



## 第47期 青少年交換 来日学生帰国前報告会 派遣生出発前決意表明 修了証書授与式

吉田真人 (深谷 RC)

6月17日(土)紫雲閣において、第47期青少年交換最後のオリエンテーション(閉講式)が行われました。前嶋ガバナーはじめとするロータリークラブ会員、留学生ホストクラブ、派遣生スポンサークラブ、受入・派遣高等学校、ホストファミリーの皆様方、ローテックスの会員など、多数の方々の御出席をいただきました。第1部において派遣生の決意表明、留学生の一年間の報告、終了証の授与式、スポンサークラブ、受入高校への感謝状贈呈が行われました。第2部においては、派遣生・留学生の歓送会ということで、一年間の労をねぎらいました。

本年は所沢東・和光・鶴ヶ島・熊谷・深谷のロータリークラブの皆さまにあずかっていただきました。次年度の派遣先は、アメリカ・ブラジル・インドネシア・メキシコ・イタリアの5か国です。本年はガバナー補佐の皆さまのご協力によりスポンサークラブの決定もスムーズにできました。次年度もこうなることを願います。

ガバナーの話しの中で、日本の学生は10回のオリエンテーションで勉強し留学の準備をしていますが、留学生はオリエンテーションをほとんど受けていないことがわかりました。受入で大事なことは、カウンセラーの方の力、そして留学生をサポートするローテックスのフォローがいかに必要わかりました。

約50年続いている青少年交換です、良いことはわかっているのですが、継続するには、会員の皆様方のご理解ご協力が頼りですので、これからもよろしく願いいたします。



## アトランタ世界大会 2017年6月9～13日

アトランタ世界大会には当地区から50名が参加され、夜は市内のレストランにてガバナーズ・ナイトを祝いました。また、ツアーではシカゴ、アトランタ、ニュー・オーリンズの観光を楽しみました。



アトランタ国際大会会場にて（開会前のひと時）



ガバナーズ・ナイト（アトランタ市内・レストランHORSE RADISH GRILL）



国際ロータリー本部にて（エバンストン、シカゴ）



「風と共に去りぬ」の作者・マーガレット・ミッチェルの家にて

## 年度末 クラブ会長・地区役員合同会議

2017年6月25日 キングアンバサダーホテル熊谷

本年度は、クラブ会長も一緒に100名のご出席をいただいて地区役員合同会議を開き、感謝状の贈呈式とクラブ会長・地区役員全員のご挨拶をいただきました。懇親会では和やかに1年間の労をねぎらいながら懇親を深めることができました。



前嶋修身ガバナー挨拶 1年間を振り返って



感謝状贈呈 今泉清詞 諮問委員



会場風景（キングアンバサダーホテル熊谷）



講評 鈴木秀憲 地区研修リーダー

# RI第2570地区第2グループ フレッシュマンセミナー開催報告

第2グループ地区研修委員会 委員長 池田 友成 (朝霞 RC)

標記のセミナーを、去る5月31日(水)に朝霞市市民会館・ゆめばれす(朝霞市)にて開催いたしました。対象を、ロータリークラブ入会后5年未満の会員、及び、今年度・次年度会長幹事とし、鈴木秀憲地区研修委員会地区研修リーダー(2012-13年度PDG)・坂本元彦次年度地区研修リーダーをお招きした本セミナーは、武藤典夫第2グループガバナー補佐の講評を頂き、終始非常に有意義なセミナーとなりました。

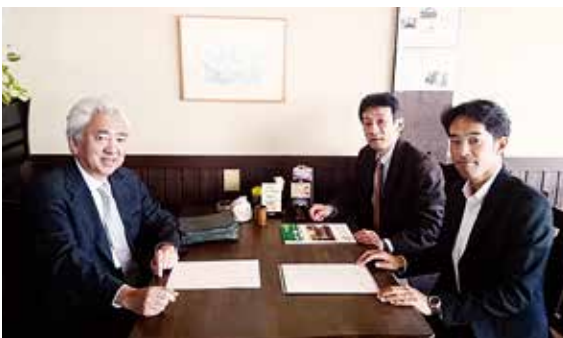
研修のテーマは二つ。まず、鈴木秀憲地区研修リーダーより「ロータリーとは」という題で、五大奉仕について、国際ロータリーと日本のロータリーの歴史についてなど広範な視点からのご講話をいただきました。就中、ロータリーを「自分と自分の職業を磨きながら地域社会や国際社会で奉仕する団体」とおまとめになり、「ロータリーは世界の範たろう、個人としては世間の範たろう。そして、ロータリー以外の場でも自分と事業を磨き積極的に活動しよう。これからのロータリーをつくるのはあなたです」とフレッシュマンに呼びかけて結ばれたご講話は、本セミナーの開催意義を十二分に満たすものでした。

続く栗山昇地区戦略計画委員からは「2016年規定審議会変更後の制定案～クラブ運営に関する主な制定案について～」という題で、2016年規定審議会による「クラブにおける主な変更事項の確認と紹介」がなされました。出席規定・メイクアップ対象事業・出席免除の申請など微に入り細を穿ったご講話は、「クラブの実情を正確にとらえたロータリークラブ細則を作り上げてゆくことこそがこれからのクラブの発展を紡ぐものである」と結ばれ、フレッシュマン一人一人の心に響くものとなりました。

本セミナーはフレッシュマンが揃うこの時期を選んでの開催としましたが、ロータリー年度末のご多忙の時期に多くのご参集を頂きましたことに感謝しつつ、以上を報告とします。



## 編集後記



前嶋ガバナー 田野副幹事 三興社印刷所 大川さん

ガバナー月信を制作するにあたり、前嶋ガバナーと月信事務局の三興社印刷所様との毎月の編集会議においては、多くの学びがあり充実した時間を過ごすことができました。そして、原稿をお寄せいただいた大勢のロータリアンのご協力により無事にこの一年間の編集を終えることができました。皆様に心より感謝申し上げます。

ガバナー月信担当副幹事 田野隆広

本来の担当副幹事が年度が始まる前に体調を崩され、急遽ピンチヒッターとして田野副幹事に依頼しました。毎月2回ほど私の事務所近くのとんかつ屋アークにてランチを食べながら三興社大川さん(父上が熊谷RC会員)と3人で編集会議を開きました。そのような訳で、ガバナーである私から直接原稿の依頼を受けた方は面食らったかと思います。皆様のご協力に心より感謝いたします。

ガバナー 前嶋修身



## ロータリー財団 国際ロータリー第 2570 地区 ポール・ハリス・ソサエティ認証者リスト

クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名
坂戸さつき	梅澤 將明	東松山	真下 和男	所沢	梅澤 定彦
熊谷東	野中 弘之	朝霞	大畑 茂	東松山	中川 正明
川越中央	鎌田 政稔	本庄	茂木 聡	本庄	加藤 玄静
深谷東	武田 哲	本庄	高柳 育行	富士見	坂本 元彦
秩父	星野 進	皆野・長瀬	宮前 英雄	本庄南	村田 貴紀
富士見	阿部 晋一郎	新所沢	長沢 友雄	吹上	鈴木 秀憲
富士見	松本 仙太郎	所沢	齋藤 昌俊	熊谷	前嶋 修身

## ロータリー財団 国際ロータリー第 2570 地区 メジャードナーリスト

クラブ名	寄付者名 <small>●=故人 ○=非会員</small>	Recognition Level	Achieved Date
熊谷	前嶋 修身	Major Donor Level 1	03-Jun-2017
岡部	吉田 恒 ○	Major Donor Level 3	08-Mar-2012
行田	山田 晃	Major Donor Level 1	05-Dec-2008
熊谷	井埜 利博	Major Donor Level 1	08-Oct-2015
坂戸	田中 一郎	Major Donor Level 1	01-Dec-1999
坂戸さつき	松本 光司	Major Donor Level 1	30-Apr-2010
坂戸さつき	梅澤 將明	Major Donor Level 1	29-Jul-2011
志木	西川 武重郎 ●	Major Donor Level 2	27-Oct-2011
秩父	星野 進	Major Donor Level 2	08-Jul-2011
所沢	梅澤 定彦	Major Donor Level 1	30-Jan-2015
所沢	中井 眞一郎	Major Donor Level 1	09-Jul-2013
東松山	真下 和男	Major Donor Level 1	30-Jun-2009
吹上	鈴木 秀憲	Major Donor Level 1	30-Nov-2012
富士見	坂本 元彦	Major Donor Level 1	17-Dec-2013
富士見	阿部 晋一郎	Major Donor Level 1	30-Jul-2013
富士見	松本 仙太郎	Major Donor Level 1	20-Aug-2010
本庄	高柳 育行	Major Donor Level 2	17-Jul-2015
皆野・長瀬	宮前 英雄	Major Donor Level 1	03-Jul-2009
和光	鈴木 勲二 ●	Major Donor Level 1	04-Feb-2011
熊谷東	野中 弘之	Major Donor Level 1	27-Sep-2012
深谷	福島 良治	Major Donor Level 1	30-Apr-2008
深谷東	寺山 栄一 ●	Major Donor Level 1	16-Nov-2007
深谷東	武田 哲	Major Donor Level 1	07-Oct-2011
深谷東	木暮 亨	Major Donor Level 1	13-Aug-2010
川越小江戸	飯野 行雄 ●	Major Donor Level 2	09-Dec-2003
川越中央	鎌田 政稔	Major Donor Level 1	14-Dec-2012
朝霞	橋本 正彦	Major Donor Level 1	29-Jul-2014
行田さくら	細井 保雄	Major Donor Level 1	18-Nov-2013

2016-17年度 ガバナー月信表紙 VOL.1~12



2016-17年度 RI会長テーマ



熊谷うちわ祭 お祭り広場



第1回 公式訪問 川越 RC



RI元会長 田中作次氏 ご自宅を訪問



熊谷次郎直実公銅像  
JR 熊谷駅ロータリー



大室 雫 RI会長代理 地区大会



熊谷次郎直実公 浮世絵  
(澤田記念文庫)



青少年交換学生 書初め



熊谷次郎直実と平敦盛 神戸・須磨寺



日本さくら名所100選 熊谷桜堤



ローターアクトクラブ認証状伝達式  
城西大学 (坂戸 RC)



皆様 グッド・ラック!  
ジョン・F・ジャームご夫妻

ガバナー月信 No.13  
2017.11.1 発行

GOVERNOR'S  
MONTHLY LETTER

ガバナー月信事務局

〒360-0815 埼玉県熊谷市本石 1-78 株式会社三興社印刷所内  
TEL : 048-521-4558 FAX : 048-522-2935  
E-mail : letter2570@ae.wakwak.com